

住み慣れた地域で暮らし続けたいという県民のニーズに応え、かつ、質の高い医療を将来にわたって持続的に提供できる体制の構築

1 秋田県医療の課題

人口減少と高齢化の進行

○患者数と症例数の減少

- 地域における医療機能の縮小が懸念される
- 患者や症例の減少に関わらず、高度な専門的医療を提供できる体制を確保する必要がある
- 専門医の養成や技術の維持向上のためには、十分な症例を経験できる環境を整える必要がある

○医療ニーズの変化

- 高齢者（後期高齢者）の増加に伴い、地域包括ケアシステムを支える機能の重要性が増してくる【充実が求められる機能例】
- ・急性期における治療を終えた患者へのリハビリテーションの提供
- ・かかりつけ医や介護支援専門員等との連携による、在宅療養生活への円滑な移行支援
- ・在宅療養者の病状急変・増悪時の救急治療・入院受入れ

働き方改革の推進

○医療機能に応じた適切な医師配置

- 医療の質・安全の確保や持続可能な医療提供のためには、医師が健康に働き続けられる環境を整備する必要がある
- 医師数に限りがある中で働き方改革を進めるためには、地域の中での医療機能を分担した上で、医療機関の果たすべき機能に応じた適切な医師数の配置が必要である

医師等の不足・偏在

○必要な医療を確実に提供するための体制構築

- 高度な手術を行う病院や24時間患者の受入れに対応する救急病院においては、医師以外の医療スタッフを含めた人的体制の強化が求められる
- 救急病院等の体制強化のためには、地域の医療機関全体の役割と体制の見直しを併せて考える必要がある
- 複数の疾患を抱える高齢者の増加に対し、幅広い疾患に対応できる総合診療医が不足している

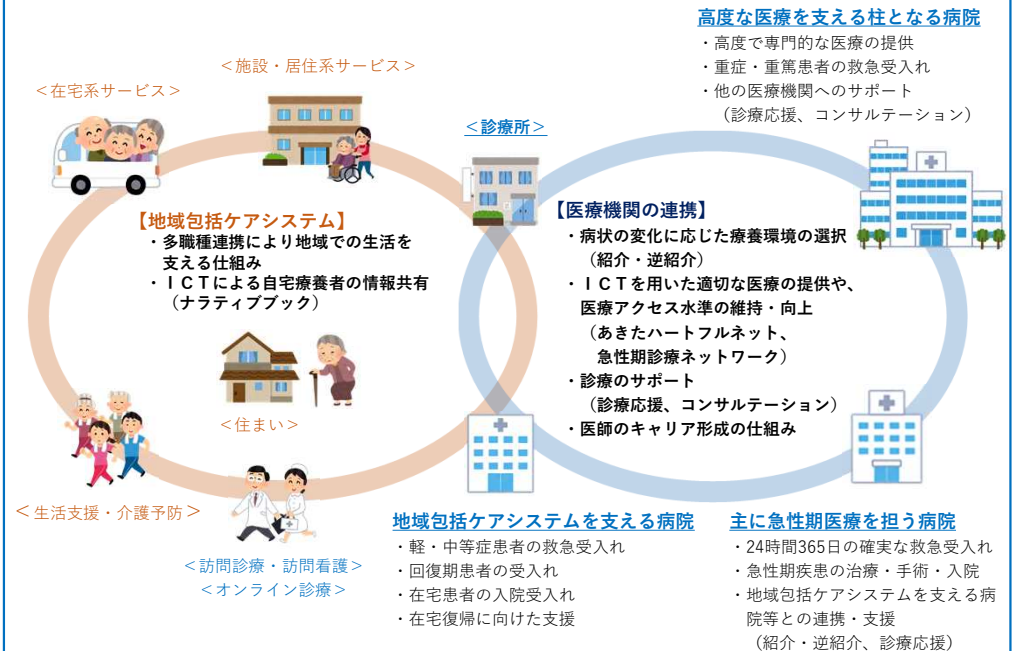
○医師等のキャリア形成

- 医師等の県内定着のためには、各医療機関での勤務を通して、専門性を高めることができる環境を提供する必要がある

3 目指す姿のイメージ

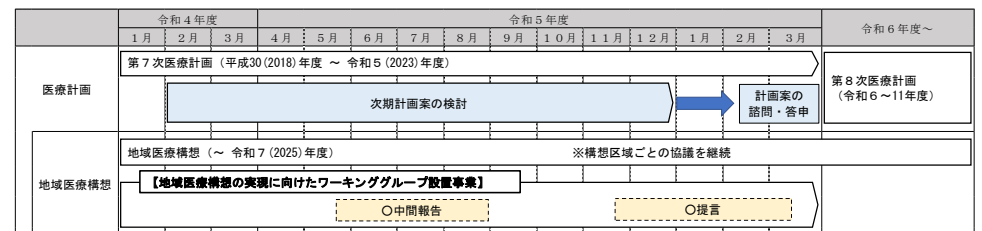
○役割・機能の最適化と連携の強化

人口や患者の減少下でも必要な医療を提供するため、各医療機関が果たすべき役割を明確化し、医療資源の効率的・効果的な配分や、広域での機能分化・連携強化を推進



4 今後の進め方

- ・第8次医療計画（R6～R11）の策定作業を通じた、将来的な医療提供体制の検討・構築
- ・シンポジウム開催などにより、今後の対応方針等に関する県民理解を促進
- ・医療資源の配分や、機能分化・連携強化に関する医療関係者間での具体的協議



2 課題解決のための対応方針

○医療機関の役割・機能の明確化と、医療資源の最適配分

○より広域的な機能分化・連携強化（医療圏のあり方）

○医師等がスキルアップしながら働き続けられる環境の整備